

女性部会年次報告会

女性部会は、6月11日 荒磯温泉 荒磯館において令和6年度女性部会年次報告会を開催しました。

年次報告会は、川上部会長のあいさつのもと令和5年度事業報告、令和6年度事業計画について事務局より説明し、承認されました。続いて現在の会員状況から会員増強への協力について依頼されました。

議事終了後、令和5年度末をもって勇退した部会員の功労表彰を行いました。来賓あいさつでは、岡寄益田税務署長、森本会長に祝辞を頂き、年次報告会は終了しました。報告会に次いで「笑顔は幸せ行きのパスポート～幸せを呼ぶ笑顔の力～」と題してオフィスらしく 代表 河上恵美氏より講演を頂きました。

【定年功労表彰者】 (有) 亀地 亀地 照代様
(有) さかえ商事 榎 並 順子様

永年の女性部会活動へのご尽力に対し深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



青年部会年次報告会

青年部会は、6月25日 三好家において令和6年度青年部会年次報告会を開催しました。

最初の竹内部会長のあいさつでは、部会活動への参加及び会員増強への取組等について挨拶の後、議事に移行し、令和5年度事業報告、令和6年度事業計画について事務局より説明し、承認されました。

続いて令和5年度末をもって定年退会した4名の部会員を紹介し、出席者2名の表彰を行いました。

来賓あいさつでは、岡寄益田税務署長、森本会長に祝辞を頂きました。続いて福利厚生制度について保険3社より説明を頂き、予定された議事を円滑に進行し年次報告を終了しました。

【定年功労表彰者】 (有) 清水組 清水 研治様 (株) 益田原木市場 阿知波 伸二郎様
(医) 里山会 澄川 裕之様 (株) メイワ 野村 真由美様

永年の青年部会活動へのご尽力に対し深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



第1回 法人学校開校

6月24日（月）益田商工会議所3階大会議室において令和6年度第1回法人学校を開校しました。第1回目は、益田労働基準監督署様をお迎えし、2部構成で行いました。第1部は、益田労働基準監督署 署長 杉本 渉氏が「令和6年度行政運営方針について」、第2部は、監督・安衛課長 曾田智弥氏が「働き方改革と魅力ある職場づくり」について以下の内容で講演をいただきました。



第1部 令和6年度行政運営方針について（令和6年度の重点施策）

- ◇ 最低賃金・賃金の引き上げに向けた支援、非正規雇用労働者等の処遇改善等
 - ①最低賃金の引き上げや業務改善、生産性向上を図る中小企業・小規模事業者に対する「業務改善助成金」の活用、この取組を促進するため島根働き方改革推進支援センターとの連携、②島根県最低賃金及び特定最低賃金について県内の使用者・労働者団体、地方公共団体及び報道機関等の協力を得ながら広く周知広報を行うとともに最低賃金の履行確保上問題があると考えられる業種等を重点として監督指導を行い、遵守の徹底を図る。③同一労働同一賃金について自主的な改善（見直し）を促進。④年収の壁を意識せず働くことができる環境づくりを後押しする非正規雇用労働者の処遇改善・正社員化を行う企業への支援。
- ◇ 多様な人材の活躍と魅力ある職場づくり
 - ①フリーランスの就業環境を整備するため、法律違反に関する申出があった場合には、遅滞なく申出内容を聴取し、報告徴収・是正指導等を行いその履行を確保。②仕事と育児・介護の両立支援として「産後パパ育休」、「パパ・ママ育休プラス」等を含めた育児・介護休業法に基づく両立支援等助成金の周知及び履行確保と男女とも仕事と育児を両立しやすい環境整備に向けた企業の取組み支援や介護休業制度等の周知、介護離職を防止するため「仕事と介護の両立支援対応モデル」の普及や事業主に対する両立支援助成金の活用促進を通じて仕事と介護の両立ができる職場環境整備と改正内容の周知、③ハラスメント対策、働く環境改善等支援、ハラスメント関係の相談数が増加する傾向にあり相談支援を含む総合的なハラスメント防止対策の推進、男女雇用機会均等法の確実な履行、安全で健康に働くことができる職場づくりのための周知を行う。
- ◇ 労働保険制度の適正な運営
 - 未手続事業一掃対策の推進、収納未済歳入額の縮減、労働保険料の口座振替納付制度への一層の利用促進、デジタル化の促進。

第2部 働き方改革と魅力ある職場づくり

平成31年から働き方改革関連法令の大きな改正が始まり、令和6年度は改正の最終段階となる。改正事項は、事業所の適切な対応が求められる他、令和6年4月より労働条件明示義務の範囲が拡大されている（就業場所、業務の変更の範囲）。最近、労働者の離職理由も「賃金以外の労働条件がよくなかった」、「人間関係がうまくいかなかった」が増加する傾向にあり、労働条件等の改善を含め働き方改革関連法に沿った現状の確認を！



- ◇ 年次有給休暇の取得促進について
 - 年次有給休暇仮簿を作成、年5日間取得に向けた「有給休暇取得奨励月間」等の具体的な施策を講じるほか、事業主の方針・目標を明確化し、取得し易い環境を整えることで働き易い職場とすることは企業の魅力向上の一要因。厚生労働省「働き方・休み方改善ポータルサイト」では、様々な業種の企業の取得事例を紹介しているので活用を！
- ◇ パワーハラスメント（以下「パワハラ」という。）対策について（令和4年4月義務化）
 - パワハラは単なる「職場の人間関係のトラブル」ではない。労働者の就業環境・職場秩序を害する企業として対処すべき問題となるため、パワハラ対策方針を明確にして苦情対応、相談対応のための体制（対応手順、役割分担）を整備しておくことが必要、パワハラ事案が起こった場合は、真摯な傾聴に努め、相談者の意向を的確に把握（相談対応）及び事実確認（どのような事実があったか。状況により第三者にも確認）を行い、確認できた内容に基づき事実関係の有無を決定することが重要。
- ◇ 勤務間インターバル
 - 勤務間インターバルとは、勤務終了から次の勤務開始までの間の時間数のことで、このインターバルが短くなるほど労働者の睡眠時間（質）は悪化するもの。過労死等認定基準の改定により「勤務時間インターバルが短い（9時間以下）勤務」が労働者の負荷要因（労働環境が悪い）として位置付けられた。1ヶ月45時間以上の時間外労働が行われている事業主は、働き方改革推進支援助成金を活用して制度を導入（就業規則に明記）して業務の効率化を図ることも必要。
本講演を通じて、労働行政の重点施策について理解するとともに、労働者の関心は「賃金額」から「賃金以外の労働条件・職場環境」にシフトしている現状を踏まえ、働き方改革関連法への対応と併せて創意工夫をすることで労働者にとって魅力的な職場づくりにつながるということについて認識を深めました。

● 児童図書 を 寄 贈 ●

益田市立図書館（益田法人会文庫）

公益社団法人 益田法人会（森本恭史会長）は、7月2日益田市立図書館へ小・中学校向けの学習図書（5万円相当）を寄贈しました。この児童図書の寄贈は地域社会の健全な発展のため社会貢献活動の一環として平成22年から行っている事業で令和6年度で14年目を迎え、寄贈図書は累計で723冊となります。

当日は、森本会長、市原副会長、大畑社会貢献委員長が益田市役所 応接室において山本益田市長へ道徳、地理、生活分野などの学習図書の目録が手渡されました。山本益田市長から「子どもたちがこの本を読んで知識を深めてもらいたい。」と謝辞がありました。



● 児童図書 を 寄 贈 ●

益田市立真砂小学校・高津小学校

◆益田市立真砂小学校◆

7月4日（木）森本会長、市原副会長、大畑社会貢献委員長は、真砂小学校を訪れ、「ことばあそびをしよう早口ことば」など計25冊の児童図書の目録を代表児童へ手渡しました。代表児童からは、「寄贈された図書を大切にしたいことを調べるなどに役立てたい。」などの謝辞がありました。



◆益田市立高津小学校◆

7月16日（火）森本会長、市原副会長は、高津小学校を訪れ、代表児童へ「外来生物ずかん」などの児童図書17冊の目録を手渡しました。代表児童から「寄贈された図書を大切にしたいことを勉強に役立てたい。」などの謝辞がありました。



有限会社 久城木工

代表取締役 久城 典久

〒698-5211 島根県鹿足郡津和野町青原437番地
 TEL:0856-75-0012 FAX:0856-75-0041
 URL:http://www.kushiromokkou.co.jp

- ① わが社のモットーとPR
- ② 社長の趣味・家族・ペット・好きな食べ物
- ③ 税についてお聞かせください



代表取締役：久城 典久 氏

“お客様の夢の実現に向けて”

沿革：昭和29年9月 創業
 ：昭和59年9月 新工場(現工場)建設
 ：平成9年6月 法人化・現社長就任

従業員数：3名

事業内容：木製建具・家具の製造・販売
 カバン・木のおもちゃ・タンスやテーブルのリメイクなど

①昭和29年創業以来、事業内容を通して快適で心安らぐ生活環境づくりに貢献してまいりましたが、何よりも力を入れているのは“お客様の夢の実現”です。

近年ではほとんどの物が既製品になり、「選ぶ」ということだけで手軽に製品を購入できるようになりました。ただ、どうしても自分の欲しいものが既製品にはないケースもあるはずです。お客様の多種多様な要望を全てお聞きし、予算に合った最良の夢の製品を作り上げていきます。

創業以来70年近くこのスタイルを貫くことで、多くの夢と喜びの笑顔に出会いました。そしてそれは企画・設計・仕入・製造・販売というお客様の夢を実現させるための全ての工程を自社で一貫して行うことでのみ実現できることであると考えています。

②今は子供と一緒に映画を見たり、スキーに行ったりして一緒に過ごす時間が一番の幸せな時間。ペットは子供たちが飼いたいというのでセキセイインコを飼ったが、思った通り私が世話をすることになった。好きな食べ物は甘いものならなんでも好き。

③税は多くの種類があり分かりにくいけれども、沢山の恩恵も受けている。納めることばかりが話題にあがるが、税金の使途や恩恵にももっとフォーカスしても良いのではないかと思う。



久城木工 会社外観



打合せの様子



KUSHIRO_MOKKO



キッズテーブル&チェア (高津川流域材)



下駄箱(杉材)



有限会社久城木工 公式HP